



2025 年 10 月 3 日

各 位

会社名 古野電気株式会社
代表者 代表取締役社長執行役員 兼 CEO 古野 幸男
コード番号 6814（東証プライム）
問合せ先 取締役常務執行役員 兼 CFO 和田 豊
(TEL 0798-63-1017)

第 2 四半期（中間期）連結業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、2025 年 4 月 9 日付で公表しました 2026 年 2 月期第 2 四半期（中間期）の連結業績予想を下記のとおり修正いたしますのでお知らせします。

記

1. 連結業績予想数値の修正について

2026 年 2 月期第 2 四半期（中間期）連結業績予想数値の修正（2025 年 3 月 1 日～2025 年 8 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する中間純利益	1 株あたり 中間純利益
前回発表予想（A）	百万円 64,500	百万円 6,500	百万円 7,000	百万円 5,000	円 銭 158.24
今回発表予想（B）	68,600	9,300	10,100	10,100	319.61
増減額（B-A）	4,100	2,800	3,100	5,100	-
増減率（%）	6.4	43.1	44.3	102.0	-
（ご参考）前期実績 （2025 年 2 月期第 2 四半期）	62,801	7,299	7,514	5,067	160.42

2. 修正の理由

2026 年 2 月期第 2 四半期（中間期）の業績は、主に船用事業において販売が好調に推移したことから、前回予想を上回る見込みとなりました。

商船向け市場では、中国における造船会社の高水準な手持ち工事量を背景に建造能力の拡大が進んだ結果、納期の全体的な前倒しが発生し、当社製品の販売が増加しました。また、プレジャーボート向け市場では、今期に上市した戦略商品の販売が好調に推移したことに加え、4 月に発表された米国向け関税強化政策の影響による前倒し需要も寄与し、想定を上回る水準で推移しました。さらに、賃上げ促進税制の適用による税金費用の減少に加え、税効果会計の影響もあり、中間期の税負担率が低下する見込みです。

これらのことから売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する中間純利益が、いずれも前回業績予想を上回る見通しとなったため、2026 年 2 月期第 2 四半期（中間期）の業績予想を上記のとおり修正いたします。

なお、通期連結業績予想及び配当予想につきましては、現在精査中のため、2025 年 10 月 10 日に開示予定の当第 2 四半期（中間期）連結決算とあわせてお知らせします。

(注) 上記の予想は、公表時点で入手可能な情報に基づく当社の経営陣による将来の予測であり、潜在的なリスクや不確定要素を含んだものです。そのためさまざまな要素により、記載された見通しと異なる結果となり得ることをご承知おきください。

以 上